

# 第35回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

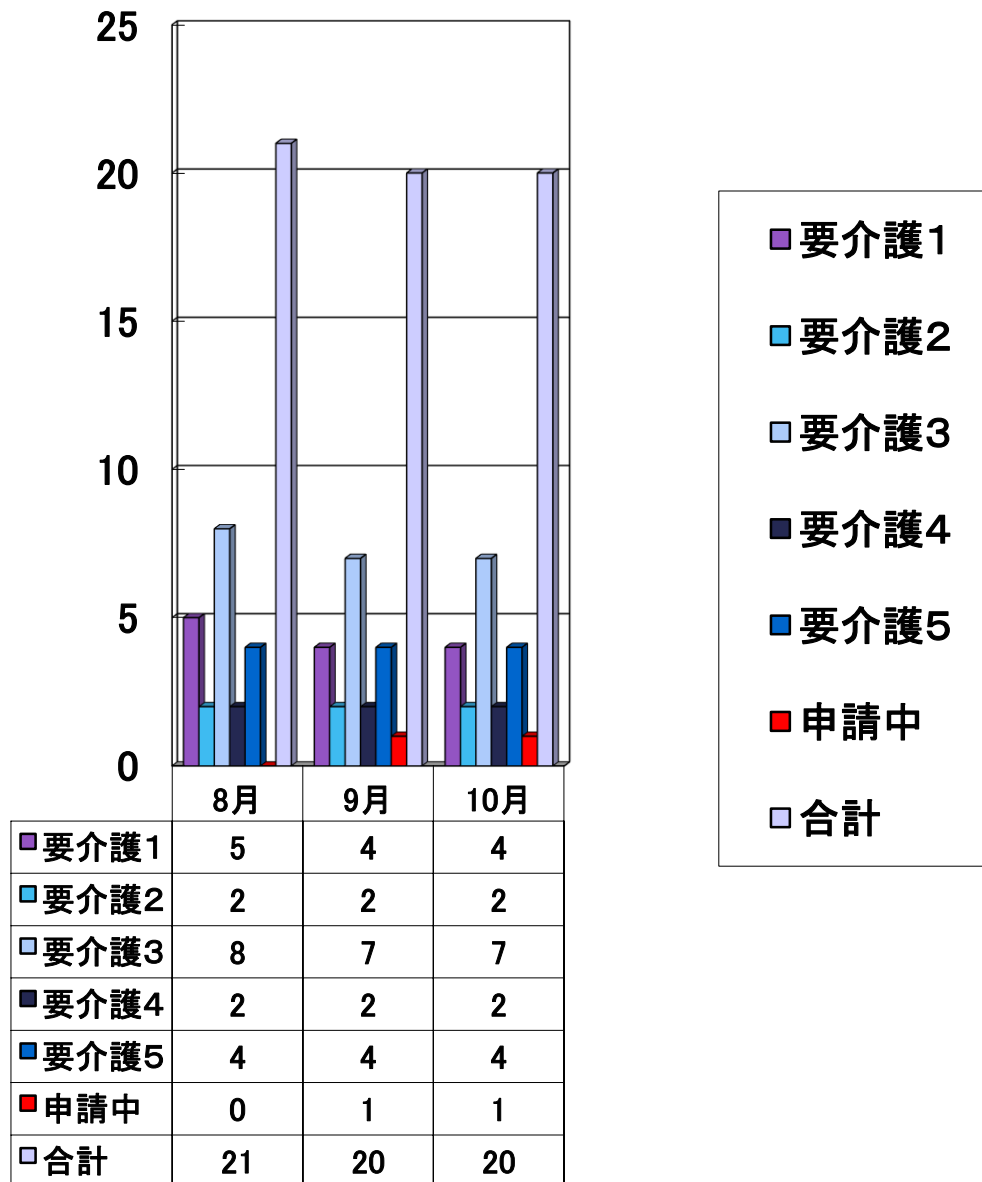
平成30年9月26日

# 第35回運営推進会議

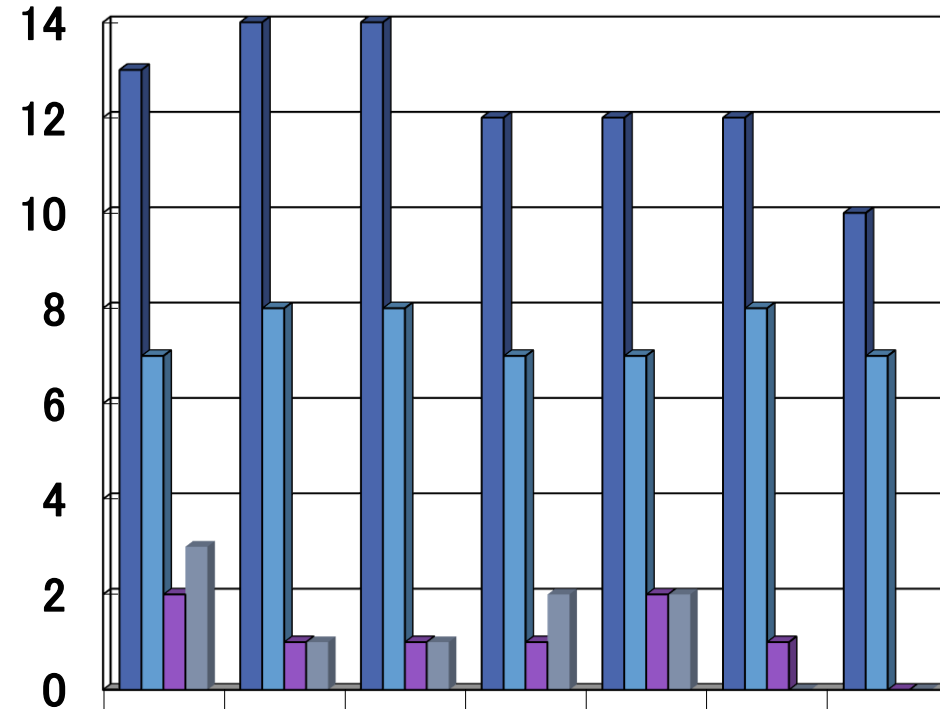
- るぴなすご利用者現況報告
- 看取りの報告
- 活動報告
- その他質疑応答・要望等

# 登録利用者数

平成30年8月～平成30年10月



# 平成30年9月 曜日別利用者数



- 通い
- 泊まり
- 訪問
- 訪問看護

■ 通い	13	14	14	12	12	12	10
■ 泊まり	7	8	8	7	7	8	7
■ 訪問	2	1	1	1	2	1	0
■ 訪問看護	3	1	1	2	2	0	0

## 今後の予定

- ◆ ぶどう狩り
- ◆ 高志二丁目防災訓練
- ◆ 家族交流会

お知らせ

地域包括支援センター姥ヶ山

## 地域包括支援センター山潟

(住宅型有料老人ホーム「鳥屋野の里」)

圏域：山潟中学校区

姥ヶ山・清五郎・長潟・弁天橋通  
南長潟・美の里・京王・高志・山二ツ

## 地域包括支援センター鳥屋野・上山

圏域：鳥屋野中学校区・上山中学校区

# 第35回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所るぴなす

開催日時：平成30年9月26日(水) 18:00～

出席者：自治会長・目黒様，地域包括センター姥ヶ山・小石様，須本様，民生委員・大嶋様  
ご利用者ご家族・本間様・和田様・高橋様・山上様  
法人代表・斎藤先生，法人総務・物江，管理者・小林

## 1 斎藤先生より

- ・平成18年度に小規模多機能が制度化され、私たちは平成19年度から小規模多機能を始め11年目になります。まだまだ周知されていないのが現状です。ただ単にデイ，ショート，訪問の3つが合わさっただけでなく、家にいたければ家で提供されますし、時間も決まっていない、家のこともカバーする、24時間365日、ここにいない時間も見ることができます。平成25年から訪問看護も使えるようになり、今まで35人の看取りをしてきましたが、ここではなく自宅でと希望があれば自宅で看取りの支援に入ります。何でも病院でなく地域で見ることになりましたが、仕組みがまだまだで、看護小規模が病院と家の代わりになりその仕組みを地域の方とやっていかなければならない。その人が本当にいたい所でどうしたいのか、サポートできる看護小規模多機能の仕組みを皆さんに理解してもらいたい。切れ目なくその人の思いを叶えることができる地域の中の仕組みですので、この会議で色々出し合って話し合えればと思います。

## 2、ご利用者現況報告

### ○登録利用者数

- ・8月21名、9月20名、10月20名

### ○曜日別利用者数

- ・通い10～14名、その日の希望に応じて利用される方がおり、満員になる日もある。

## 3、看取りの報告

### ・W・Y様 要介護2

るぴなす利用前、臨港病院で、もうだめだろうという状況が2回あり、それから4年間。るぴなすを利用してからも2～3度状態説明されもう最後とご家族も覚悟していたが、酸素と利尿剤、水分摂取の制限でここまで保たれ、私たちも勉強になった一例。

## 4、活動報告

### ○行事，日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告

- ・流しそうめん・・・デイルームに長竹を渡し、すくって食べました。
- ・すいか割り・・・皆さんで割って、いただきました。
- ・普段の様子・・・献立書き，ぬり絵
- ・るぴなす祭り・・・午前中は屋内で、子ども達とボウリング，輪投げ。集合写真。  
午後には外で雨でしたがテントを張り、キッズダンス，和太鼓を披露して



頂きました。

流しそうめん、厨房の手作りの屋台。自治会、婦人部にご協力いただき、今回は新潟医療福祉カレッジの学生もボランティアで協力下さいました。

じゃんけん大会で勝った方に商品が渡されました。

最後は天気が良くなり、テントから出て和太鼓演奏して頂けて良かったです。

- ・京王幼稚園・・・敬老の日が近いので、園児が歌や手遊びをしに来て下さり、皆さん喜ばれていました。
- ・敬老の日・・・フルーツぜんざいを作って食べました。
- ・ボランティア・・・ピエールK様。大道芸を披露して下さいました。
- ・お誕生会・・・8月のお誕生会

## 7、今後の予定

## 8、お知らせ

小石様：地域包括支援センター姥ヶ山が、10/1より圏域ごとに二つに分かれます。

高志は地域包括支援センター山潟の担当になります。職員4名です。

近くて見回りしやすいようになりますので、いつでもご相談下さい。

## 9、その他ご意見等

目黒様：92歳で一人暮らし、全盲のM様について経過報告。10/14の防災訓練内容。

西区の事件から桜ヶ丘小に集まり、危ない場所を回った。補助を受け防犯カメラを設置できそう。

大嶋様：お年寄りはどこに相談したら良いか困っている。るぴなすから相談に乗って頂けると助かる。地域包括支援センターにも繋げている。

斎藤先生：良い仕組みはあるが繋がっていない。看多機の利用者だけでなく、地域の相談所になりそれらを繋いでいき手助けの一つになればと思います。

本間様：何かあったら相談だが、人の世話になりたくないという人は、気付いた時には手遅れな場合がある。どうしたら良いか。

斎藤先生：クリニックの在宅支援室では、お達者電話クラブ200円／月で、月～金曜の毎朝電話をするものもあり、利用されている患者様がいる。

小石様：相談いただければ、たまたま地域を回っていると言って訪問し、そこで名刺を置いて何かあればと、お話して来ることもできる。介護認定が出ていてもサービスを使っていない人もいる。

目黒様：ひきこもり、虐待、大学生の警察殺傷事件、まさかあの人という場合があり、人間はわからないもので難しい。無理やり入り込めない。

高橋様：両親ともお陰様で変わりなく元気。母は忘れるのが多く、紙に書いておいてもダメで毎朝デイの支度でいらない道具も準備している。

山上様：母が自宅で椅子から転落し、救急車を呼ぶ前に連絡し斎藤先生とるぴなすから助けてもらい、ホッとして嬉しかった。仕事もあるし、いっぱいいっぱい。具合が悪いと普通は自宅でとなりそうだが、連れて行ってもらえたので精神的に助かった。

斎藤先生：いい加減で介護出来るといい。みんなギリギリで介護しているので。こういう場で意見交換していきましょう。何かあればご相談下さい。必要な所へ繋がります。